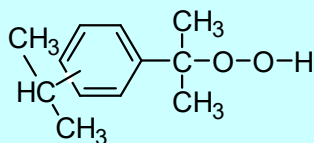


パークミル®P (PERCUMYL®P)
 ~ Diisopropylbenzene hydroperoxide ~



分子式：C₁₂H₁₈O₂ 分子量：194.28 理論活性酸素量：8.24%

特徴 パークミル®Pは、芳香族ヒドロパーオキシドであり、分解温度が高く、熱に対しては比較的安定です。一方、硫酸第一鉄のような還元剤と接触すると容易にレドックス反応を起こし、低い温度でもラジカルを発生することができます。このレドックス反応特性を利用して、SBRやABS樹脂などの乳重合開始剤として使用されています。また、不飽和ポリエステル樹脂などの常温系硬化剤、高温系硬化剤としても有用です。

品質	パークミル®P
純度	50%
希釈剤	芳香族炭化水素
外観	淡黄色透明液体

保管温度	室温冷暗所30℃以下
-------------	------------

包装形態	190kg, 20kg (10kg×2)
-------------	----------------------

一般的性状	比重	0.954 (20℃)
--------------	----	-------------

半減期及び活性化エネルギー	1分間半減期温度	1時間半減期温度	10時間半減期温度	活性化エネルギー	頻度因子
	232.5℃	172.8℃	145.1℃	128.6kJ/mol	8.06×10 ¹⁴ hr ⁻¹

(酢酸エチル中における熱分解：過酸化物質濃度：0.10mol/L)

安全性	圧力容器試験 (消防式)	1mmオリフィス	0/10
	熱分析(DSC)	発熱開始温度	169℃
		発熱量	984J/g
	引火点(タグ密閉式)	76.5℃	
	発火点(ASTM E659)	254℃	
	SADT	未測定	

適用法令	消防法	第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体
	労働安全衛生法	危険物・爆発性の物 その他の有機過酸化物質 通知対象物を含有せず
	PRT法	第1種並びに第2種指定化学物質を含有せず
	船舶安全法	酸化性物質類・有機過酸化物質
	航空法	酸化性物質類・有機過酸化物質

その他の分類	国連分類	クラス 5.2 (8) 国連番号 3109
	CAS-No.	26762-93-6
	官報公示整理番号	(3)-1065 (化審法、安衛法)
	TSCA	登録有り
	EINECS	247-988-1

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成していますが、記載のデータや評価、危険性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

お問い合わせは、peroxide@nof.co.jp までお願いします。